

11.28
2015. 土

午後1時30分開演
(午後1時開場)

受講料 1,000円 定員 240名
全席自由・要申込

京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts — founded in 1880 —

京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター設立15周年記念

日本伝統音楽研究センター 第43回公開講座 (平成27年度 第3回)

義太夫節の精華 竹本駒之助 九段目を語る



「義太夫節」は人形浄瑠璃の流派で、その台本・浄瑠璃本を全国に流布させた、我が国最大の三味線音楽です。竹本駒之助師は、「女流義太夫」の太夫(語り手)で唯一の人間国宝です。本学の客員教授にお迎えて、大曲『仮名手本忠臣蔵』九段目切「山科隠家の段」丸一段を演奏していただきます。義太夫節の素晴らしさを皆様に体感していただきたいと願っています。

演奏

女流義太夫・人間国宝

竹本駒之助

(京都市立芸術大学客員教授)

三味線

鶴澤津賀寿

講演

神津武男

(早稲田大学演劇博物館招聘研究員)

企画・構成・司会

山田智恵子

(日本伝統音楽研究センター教授)

主催

京都市立芸術大学
日本伝統音楽研究センター

写真提供: KAAT神奈川芸術劇場
撮影: 西野正将

京都市男女共同参画センター
ウイングス京都
イベント・ホール

京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262

◆ 地下鉄烏丸御池駅(5番出口)または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅(20番出口)下車徒歩約5分

◆ 駐車場はからだの不自由な方の来館時や荷物の搬入用に限りさせていただきます。本施設へお越しの際は、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。



義太夫節の精華 竹本駒之助 九段目を語る

2015. 11.28 土

午後1時30分開演 (午後1時開場)

京都市男女共同参画センター
ウイングス京都イベント・ホール

仮名手本忠臣蔵

かなでほんちゅうしんぐら

寛延元年(1748)8月14日大坂道頓堀竹本座で初演された、人形浄瑠璃の作品。竹田出雲(親方出雲、二代定雄)・三好松洛・並木千柳(並木宗輔)による合作。全十一段の時代物で、今回上演の九段目切「山科隠家」は、本作の中心であると同時に、義太夫節すべての曲の最高峰と称すべき大曲にして難曲である。

内容は「元禄赤穂事件(げんろくあこうじけん)」を脚色した浄瑠璃本。赤穂事件とは播磨国赤穂藩主・浅野内匠頭とその家臣らの引き起こした事件であることに因む名称で、元禄15年(1702)12月14日の「討入(うちいり)」(吉良上野介屋敷への夜襲)で有名。本作は「仮名手本」いろは47文字に、討ち入った赤穂浪士四十七人を象徴させて、彼らの物語を討入から数えの47年目の、しかも浅野内匠頭の月命日「14日」を初演興行の初日として開幕したところに隠された工夫があった。

江戸幕府は現代史の上演を禁じたため、時代設定を軍記『太平記』(南北朝の争乱を描く)の世界に移して、浅野内匠頭を塩冶判官高貞、吉良上野介を高師直と擬える。

物語の前提

塩冶判官の家老大星由良助(史実の大石内蔵助)の子・力弥と、桃井若狭介の家老加古川本蔵の娘・小浪は、許婚であった(二段目「諫言の寝刃」)。塩冶判官が高師直に斬り付けたとき、加古川本蔵は偶然居合わせ、判官を抱き留めた(三段目「恋歌の意趣」)。判官は「加古川本蔵に抱留られ。師直を討もらし無念。骨髓に通つて忘れがたし。」と恨みを残して死んだため(四段目「来世の忠義」)、力弥と小浪の結婚は絶対に成立し得ない大難事となる。

あらすじ

九段目「山科の雪転」、いわゆる「山科隠家の段」の物語は、成り立ちがたい結婚を加古川本蔵はいかにして成就させるのか、という枠組みで展開する。

舞台は、京都山科にある大星由良助の隠家。本蔵は冷静で行動力に富み、由良助の本心を前夜までに見定めて(七段目「大臣の鉦刀」)、翌朝、妻戸無瀬・娘小浪を事前の指示通り、不意に訪問させて、婚約の履行を迫らせる。対する由良助は居留守を使って、妻お石に拒絶させる。物語の前半は、妻同士を間に挟んでの加古川本蔵と大星由良助の激しい心理戦。

物語の後半は夫たちの直接対決。本蔵が暴れ込み、力弥の槍に突き止められると、由良助が対面する。瀕死の本蔵の問いかけに、由良助は閉じ隠した本心を打ち明けて、両者は和解。由良助は一夜限りの結婚を許し、敵討ちに出発する。

出演者紹介



竹本駒之助

たけもと こまのすけ

兵庫県淡路島出身。

1949年大阪に出て竹本春駒に師事。竹本駒之助を名乗る。文楽の諸師匠方に師事。1952年二世鶴澤三生を相三味線に東京で演奏活動を始める。1970年四世竹本越路大夫の門

人となる。1996年第26回モービル音楽賞受賞。1999年重要無形文化財「義太夫節浄瑠璃」個人指定保持者(人間国宝)に認定。2003年紫綬褒章受章。2008年旭日小綬章受章。日本伝統文化振興財団よりCD『人間国宝女流義太夫 竹本駒之助の世界』発売。2009年CD『人間国宝女流義太夫 竹本駒之助の世界』が第64回文化庁芸術祭賞優秀賞(レコード部門)を受賞。2012年、第61回神奈川文化賞受賞。2015年京都市立芸術大学客員教授に就任。



鶴澤津賀寿

つるざわ つがじゅ

東京都出身。

1984年竹本駒之助に入門、三味線を四代目野澤錦糸に師事。1986年駒之助の義母鶴澤三生の幼名を継

ぎ、初舞台。鶴澤重輝の預かり弟子となる。1996年度第47回芸術選奨文部大臣賞新人賞(古典芸術部門)、1997年度第11回清栄会奨励賞、1999年度第4回ビクター財団賞「奨励賞」(現、日本伝統文化振興財団賞)等。2009年重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者認定。

申込方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法により、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号(FAX番号) ⑤「第43回公開講座参加希望」を明記の上、お申込みください。

※受講料1,000円は、当日受付にて頂戴いたします。

※定員に余裕がある場合は、当日申込も受け付けます。

申込・
問合せ先

〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学

事務局連携推進課(事業推進担当)

Tel 075-334-2204

Fax 075-334-2241

Eメール public@kcuu.ac.jp